

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 4月 8日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4674800117号
法人名	有限会社ファースト・ケア
事業所名	グループホームいこい
所在地	鹿児島県出水市高尾野町大久保1432-1 (電話) 0996-82-5537
自己評価作成日	平成26年3月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年3月27日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様個人の思いを尊重し、利用者様だけでなく御家族にも協力お仰ぎ連携を取りよいケアへ繋げる事に努めている。1年間を通してさまざまな行事を行い毎月利用者様と楽しい時間を過ごせるよう職員一同心がけて、利用者様のペースに合わせ無理のないように体調などにも気をつけて行事へ参加して頂いている。昨年より地域の小学生・中学生・高校生の交流を元にサマーボランティアを受け利用者様と学生の触れ合いを楽しんで頂ける。地域交流では、バザーボランティアにも参加し地域の方々との交流・会話などを楽しめる。利用者様と職員と一緒に和む時間を大切にする事ができる環境作りを日々努力しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

近くを肥薩オレンジ鉄道が走る、のどかな環境のなかに立地しているホームである。同一敷地内にディサービスを併設、平成13年に設立されたホームで、築10年以上経過しているが、清潔に管理されている。今回のアンケートも全家族から回答をもらい、ホームに対する感謝の評価が高い。

- ・理念を念頭に、日々ケアに取り組んでいる。利用者も理念を理解し、ホーム生活の中で自分に出ることを見つけ、料理の下ごしらえや廊下での歩行訓練、中庭での犬とのふれあい、創作活動などを行いながら生きがいを持って穏やかに暮らしている。
- ・居室、トイレ、廊下等に手すりがあってトイレ、食堂の案内も大きく表示、利用者がスムーズに生活できるよう工夫している。リビングは、中庭を活用し多目的に楽しめる共用空間になっている。
- ・居室はベット、机、椅子が備え付けでそれ以外は自宅で使用されていた家具、仏壇、コタツ等を持ち込み自宅と変わらない利用者の生活が見える空間になっている。
- ・サマーボランティア、看護学生実習、バザーボランティア等を受け入れ、チャリティコンサートにも参加している。職員も市のクリーン作戦に参加し、地域交流に努力している。外出支援も多く取り入れ、職員、利用者ともに楽しんでいる。
- ・入居費用も配慮がうかがえ利用者、家族、地域に優しいホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内の玄関・廊下・休憩室などに掲示して日々のケアに取り組んでいる。	理念はホーム内に掲示、パンフレットや「いこい便り」にも掲載され、利用者・家族、外部の方々にも公表し、利用者、家族、外部の評価を貰っている。管理者・職員は振り返りの機会を持って、理念の共有・実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	サマーボランティア・看護学生実習・バザーボランティアなどを受け入れたり現地に行き交流を行っている。ファミリーレストランを利用したりチャリティーコンサートに参加する事もある	小・中・高校生のサマーボランティア、看護学生実習を受け入れている。バザーボランティアに参加、地域の方々との交流を楽しんでいる。併設しているデイサービス利用者との関わり、物産展やチャリティーコンサートにも出掛け、地域交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	看護学生実習・ボランティアの方々に認知症サポート要請の協力要請に参加して貰う事で認知症の理解を深めてもらう働きかけを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政関係者・民生員・自治会長・家族代表・施設内の関係者の参加にて定期的に実施している。委員の方々より頂いた意見は可能な限り実施・改善できる様に取り組んでいる。	家族・民生委員・市担当者・地域包括支援センターや社会福祉協議会の職員が参加し、定期的開催されている。活動内容やヒヤリハット事例報告、行政・地域の情報等の意見交換がなされ、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者に事業所における現状報告・相談・情報交換を行い協力関係を常に築いている。	電話や担当課へ出向いて報告、指導を貰うなど情報交換を行っている。昨年は2名のインフルエンザ患者が発生したが、担当を決めホーム内に隔離、行政と協力し蔓延を防ぐ事ができた。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者様の尊厳を守る上で重要な案件としてミーティングや施設内勉強会などで話し合い身体拘束にならないように取り組んでいる。	事業所の基本方針を入居時に説明、玄関に身体拘束排除宣言を掲示している。ミーティング時や勉強会で話し合い、日常的に拘束か、拘束でないか気づきの指導を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。職員は見守りを重視し、日中は玄関の施錠はせずに、自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	今年度中に勉強会を開き虐待防止を学ぶ計画をしております		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今年度中に勉強会を開き権利擁護を学ぶ計画をしております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は十分な説明をし疑問・不安等がないように十分聴く姿勢を見せ誤解がないように努めている。その場で説明し御家族によっては持ち帰って貰い家族間で疑問がないか話し合って契約書を交わす事もあるので再度疑問などないか聴く事もある</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置・面会時・家族会にて随時伺っており、出された事に対しては、真摯に受け止め運営に反映できる様に職員で努力している。</p>	<p>全利用者、月1回は支払いをかねて面会がある。面会時や家族会・運営推進会議で家族から意見や要望を聞いている。利用者からは日頃の生活の中で訴えを聞いている。手紙や電話・運営推進会議で報告、運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員からの意見は随時聴けるようにしミーティングやその他の時間でも話せる環境をもっており状況に応じて代表者に伝えて意見の反映に繋げている。</p>	<p>ミーティングや職員会議で運営に関する意見や提案、アイデアも活かされている。職員には担当係りがあって、各自の力が発揮できる職場環境である。管理者は代表者に職員の意見を伝え、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者が常勤しており必要に応じて管理者が相談し職場環境改善ができるように随時努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>出水川薩支部のグループホーム連絡協議会が主催の研修会の参加や外部の業者の方をお招きし勉強会実施施設内の勉強会を行ったり時には施設全体の勉強会を行う事により職員のケア・知識向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>出水川薩支部のグループホーム連絡協議会主催の研修会に参加し他施設の職員との交流を交えお互いにサービス向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	自宅訪問や利用中のサービスなどへ足を運び事前面談を行い、本人様と話をすることでニーズの把握に努めサービス開始前から少しでも良い関係を築けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居までの御家族様の苦労や経緯について話を聴くよう心がけている。又、どのように当施設で過ごしてほしいと思われているのかを聴きプランへ反映するよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居にあたり本人様がどういう支援を必要としているのかしっかりとアセスメントしたり、前ケアマネージャーや御家族様の意見も聞きながら必要に応じた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護するという一方的な意識ではなく介護させて頂いているという気持ちで共にゆっくりと過ごす時間を多く設けよりよい関係を築けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様、スタッフ、本人様との連携を蜜に持ち御家族様も含め皆で支援していける環境づくりに努めている。(家族会などで交流を図っている。)		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの知人に会いに行ったり、面会に来て頂いたり施設にいても在宅と同じような関係が継続出来るよう努めている。	入院先や他のホーム入居の友人・知人面会に同行、併設のサービス利用者や住民とのふれあい、花見や初詣など、馴染みの人や場との関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の性格や状況等を十分把握し、見守りを行い必要に応じて会話の橋渡しや調整を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	御家族様や、ケアマネージャーと退居後も必要に応じて連絡を取り合いその後の経過をフォローできるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人様から聞かれる言葉や御家族様からの話から本人様の意向の把握に努めている。	利用者からは日常の生活の中での声掛けや表情から思いや意向の把握に努めている。面会時に家族から情報を得、本人の意志を尊重した生活ができるように職員は情報を共有している。困難な場合は本人本位に話し合い支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面談にてなるべく今まで暮らしてこられた環境を見せて頂いたり、自宅でのご本人様の様子を伺い、入所後少しでも今までの馴染みの暮らしが継続出来るよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日の過ごし方や状態に目を向け、行動や発言等を記録に残しスタッフ全員が情報を共有しケアに生かせるよう支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に1回のミーティングにてスタッフとケアについて話をし意見をもらいながら作成している。また、モニタリングは担当スタッフに書面にて意見をもらっている。	利用者・家族の意見を聞き、ミーティング等で話し合い、利用者一人ひとりの現状に即した介護計画を作成している。介護計画の見直しは6ヵ月ごとだが、変化が生じた時はその都度、モニタリングは3ヶ月毎に実施している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や実践等を毎日個人記録に記入したり、口頭にてスタッフへ伝えたりしながら情報の共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じ、スタッフでいろいろな意見を出し合い、ご本人様にとってよりよいサービスが出来るよう努めている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域でしているボランティアパーティに参加したり、クリスマス会や敬老会などで地域の方を招き余興をして頂いたり地域資源を生かせるよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、御家族様の希望を聞き主治医を決定している。必要に応じかかりつけ医と連絡を取り合い適切な医療が受けられるよう支援している。	希望のかかりつけ医への受診を状況に応じて家族やホーム職員同行で支援している。協力医療機関からの往診や24時間体制の医療連携もできている。職員の中に看護師もいて健康管理ができている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>情報や気づきを看護師の資格を持ったスタッフに相談し助言をもらいながら、必要に応じた受診を検討している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者様が入院された際は、病院の看護担当の方や連携室の方と連携を取り合いながら、今後どうして行くか定期的に話し合っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居をされた際に終末期についての考えをさりげなくだが聞くようにしている。また、ご本人様の状態の変化に応じ、随時御家族やご本人様と話をし方針を検討している。</p>	<p>契約時に口頭で重度化や終末期に向けた対応についてホームで出来ることを説明している。利用者の状態変化に応じて、順次、主治医、家族と話し合い、今後の方向性を確認している。</p>	<p>家族にもわかり易い内容の重度化や終末期に向けた指針、又、重度化に伴う意思確認書等の作成を期待したい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ミーティングにて急変時の対応について勉強したり、定期的に勉強会などで議題にあげ、消防署などの協力ももらいながら救急の対応について勉強している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回ほど、火災、地震想定避難訓練を行っている。消防署より避難方法についての実習や指導を受けている。地域の方にも参加して頂いている。</p>	<p>避難訓練を併設のディサービスと合同で実施している。運営推進会議をかねて実施、会議メンバーや地区住民も参加し、気づきや講評を貰っている。また、自主訓練もしている。スプリンクラーも設置済みで備蓄もある。原発事故を想定した訓練も検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し言葉かけや対応を気をつけている。また、スピーチロックについての勉強会を行い声かけの仕方や考え方について勉強している。	基本理念「人間を尊重し、公平・平等な介護を行う」のとおり、職員は利用者に対する言葉使い、声掛け、対応について勉強や注意をし合って介護を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様に合わせた声かけやコミュニケーションをとりながら、思いや希望を引き出せるような支援をしている。言葉でうまく言えないかたは表情や態度などからくみ取るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様にとってどうか、常に考えながら支援するよう努めている。また、みんな同じ流れではなくその人のペースに合わせた支援を個別に行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	女性のご利用者様に関しては、髪をといたり、お化粧をしたりなどの支援を行っている。着る洋服等もなるべくご本人様に選んでいただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	アセスメントにて、ご本人様の好きだったものをご本人様や御家族から聞くようにし、食事に反映できるよう支援している。また、外食や出前、お弁当など食事のスタイルや環境を変えている。	菜園の野菜収穫をしたり、エプロン姿で調理に参加する利用者もいる。2ヵ月に1回はファミリーレストラン等での外食や出前を楽しんでいる。職員と利用者が同じテーブルを囲んで会話しながら美味しく食べている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量が少ない際は、エンシュアやバナナなどを提供したり、水分のムセがある方に対してはトロミをつけ水用量が確保できるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	夕食後、義歯の洗浄や歯磨きの支援を行っている。必要に応じ、毎食後声かけを行い歯磨きをして頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックを行い、ご本人様の排泄パターンを把握しその人に合った排泄支援をしている。オムツの必要性についてもミーティング等で話し合いオムツ使用軽減の検討もしている。	トイレも大きい文字で表示、手すりもあって要所要所に心配りが見られ、自立支援につなげている。排泄チェック表を作成し、排泄パターンを把握、日中は声掛け、トイレでの排泄を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の際、水分補給や食事に気をつけたり工夫をしている。必要に応じ病院に受診し下剤の服用や調整も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日は基本週3日と決めているがご本人様の意向があれば合わせている。一人で入りたい方や二人で入りたい方、それぞれに合わせて支援を行っている。	お風呂好きが多く毎日、入浴する利用者もいる。体が不自由な方にも時間をかけてゆっくり支援している。隣接のデイサービスの浴室を活用したり、清拭・足浴も行っている。温泉も家族支援で楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昨日の睡眠状態を把握し、状態をみて休息を促したり、温度や湿度など寝る環境を整え気持ちよく眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全御利用者様の服薬がひと目で分かるようファイルしいつでも見れるようにしている。また服薬の間違いないよう、スタッフ間で二十チェックを行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事に目を向け、洗濯物畳みや茶碗洗い、調理の下ごしらえなど御利用者様が生き生きと過ごせるよう支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外食や初詣、コンサート、知人や家族への面会などに出かけたりしている。最近では鶴を見に行くなど季節や地域との繋がりを感じられるような外出支援もしている。	中庭で犬とのふれあい、散歩、お茶飲み、バーベキューを楽しんでいる。年間計画を立て、月に1～2回はチャリティコンサートや季節の花見見学等に外出支援している。天気や利用者の状況次第で、思いつきドライブに出掛ける事もある。家族の協力を貰いながら個別支援にて墓参りや自宅に帰ったりしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>大きなお金は金庫にて預かっているが、お金がないと不安になられる方などには小額だが所有していただいている。買い物等で必要な際は使えるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>必要に応じ、電話をかけ御家族と話をしたりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>温度や湿度などに配慮したり、行事の写真や廊下に貼ったりと工夫している。また七夕飾りや、クリスマスツリーなど季節に合わせた飾り物も廊下に飾っている。</p>	<p>リビングには季節の花を飾り、利用者は居場所を決めて会話を楽しんでいる。廊下には行事の写真や利用者の作品が飾ってあり、昼間は休憩の椅子を要所要所に置いて歩行訓練の休憩が取れるよう、配慮されている。中庭とつながっていて犬とのふれあいや散歩、菜園を楽しんでいる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食席の工夫や、食堂周りの廊下へソファをいくつか設け、ゆっくり座って過ごせる場所を設けている。ご本人様の状況に合わせて居場所の声かけを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時の際に、自宅で使われていた家具や思い入れのある物等を持って来てもらえるようお願いしている。こたつや仏壇などもって来られたりと少しでも自宅と同じ環境にと努めている。	ベット、机、椅子が備え付けで、本人が使い慣れた家具、仏壇、時計等を持ち込み、家族写真、カレンダー、自分の作品や趣味のものを飾り、利用者各々の生活状況が視える居室になっている。利用者は机と椅子で手書きやパズル、計算を楽しんでいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個別に居室内に手すりをつけたり、トイレや食堂の案内を貼りご自分でスムーズに生活できるよう工夫している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない